

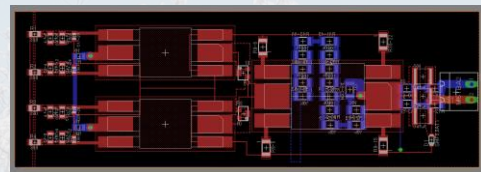
業務依頼のご案内

総合技術支援センターでは、大学内の教育・研究に関する加工依頼や分析依頼等の技術支援、IT関連業務等、理工学研究科内に限らず全学的な見地から必要な技術支援を行っております。

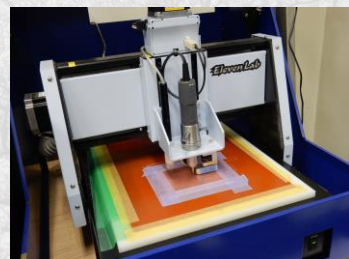
技術的な支援が欲しいけれど、技術分野や支援内容が総合技術支援センターで対応可能かどうか分からない場合は、まずはご相談ください。

「業務依頼申請書」の様式は本センターウェブサイトからダウンロードできます。

製作例



電気回路パターン図



基板加工機



オリジナル記念メダル

業務依頼の例

- ・実験装置用部品の作製
- ・測定用試料台の作製
- ・電気回路の設計・作製
- ・学内向けSDSシート作成
- ・実験用ガラス器具の作製
- ・サイエンススクール用実験部品の作製
- ・学内HP作成支援

お問合せ先

まずはお気軽にご連絡を！

窓口 9:00～17:00
電話 内線 734201
外線 048-858-9355
メール office@tsd.saitama-u.ac.jp



安全ガイダンスを
依頼したい

子供向けイベントに
協力してほしい

装置の部品を
作ってほしい



総合技術支援センター事務局
情報メディア基盤センター・科学分析支援センター棟1F
※毒劇物受入窓口もこちらになります

国立大学法人 埼玉大学
研究機構 総合技術支援センター

さいたま市桜区下大久保255
情報メディア基盤センター・
科学分析支援センター棟 1 階

HP: <https://www.tsd.saitama-u.ac.jp>
TEL: 048-858-9355 (内線734201)



令和6年 発行



総合技術支援センター

センター メッセージ

埼玉大学 研究機構 総合技術支援センター長
大学院理工学研究科 数理電子情報部門

教授 金子 裕良



センター長
金子 裕良

総合技術支援センターでは、埼玉大学の教育・研究活動や地域貢献活動に対して、様々な専門的かつ技術的なサポートを行っています。教育・研究に必要な機械器具や電子回路の設計と試作、化学実験用ガラス器具の作製や作製技術の講習、3Dプリンタによるモデル作製や、それらの相談等を受け付けています。さらに、情報メディア基盤センターのサポートや大学のネットワークの保守、広報のためのホームページ作成と運営、教員データベースの保守と運営等！IT関係の支援業務も行っています。これ以外にも、毒劇物の登録などの安全管理業務や、科学分析支援センターの分析装置の管理・運用等、高い専門性と技術力を必要とする業務を担当しており、活動は大学内の多種多様な分野に及んでいます。また、大学内で得られた知識や技術を利用して、学外に対しても地域貢献活動を行っています。たとえば、県内の高校を対象とした実験用ガラス器具作製の講習会や、理科（化学等）教育の支援、小学生を対象とした「ものづくり教室等」を開催しています。教育・研究に関することで技術支援が必要な場合は、遠慮なくお問合せください。皆様の身近にいる技術支援のプロが対応させていただきます。今後とも、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。



総括技術長
山崎 次男

組織図

埼玉大学
研究機構

総合技術支援センター

- ・センター長 1名
- ・総括技術長 1名
- ・技術長 3名
- ・機械建設系職員 10名
- ・電気電子情報系職員 5(1)名
- ・物質・生命科学系職員 10(3)名
- ・事務補佐員 (1)名

※括弧内は非常勤職員数(外数)

沿革



センター施設紹介



総合技術支援センター
建物入口



センター事務局
(毒劇物受入窓口)



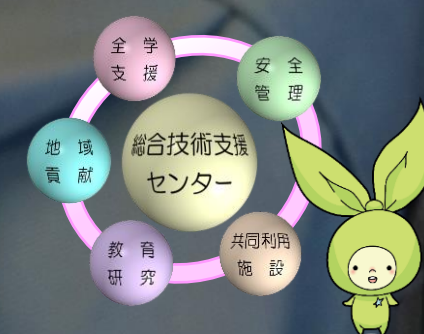
ガラス細工実習室



3Dプリンター室



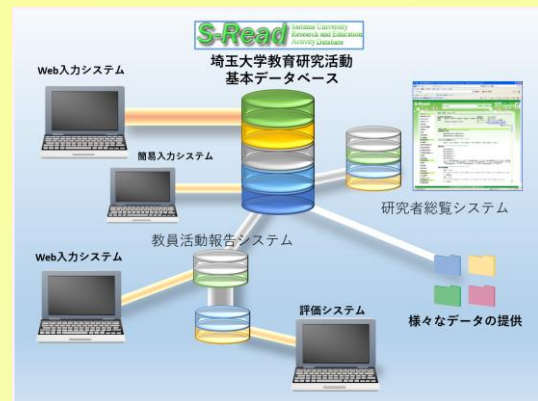
制作したアリーン冷却器、シムロート冷却器



全学広報支援

全学広報支援プロジェクトは、大学からの情報発信が効率的かつ効果的に行われることを目的とし、技術的支援を通じて全学的な広報活動の活性化を推進しています。

Webサイトの構築や保守運用、セキュリティ対応などお困りのことがありましたら、お気軽にお問い合わせください。



埼玉大学教育研究基本データベース

教員データベース

現在稼働中の埼玉大学教育研究活動基本データベース(S-Read)は、学内で分散管理されている様々なデータベースを一元化し、利用及び管理しやすいデータベースに当センターでリニューアルしたものです。このシステムは教員の入力作業の負担を軽減することにより、登録データ数の拡充をはかります。

電気工作ショップ

電気・電子工作の技術を通して、大学全体の教育・研究活動を支援することを目的として、メンバーそれぞれの幅広い経験・技術で、教育支援・研究用実験装置の製作などを行っています。電気工作ショップでは基板加工機を所有しニーズに合ったオリジナルの電子回路用基板を作製することができます。

また、省エネ関連で電力測定、安全衛生関連で電気火災対策などのご相談も受け付けています。

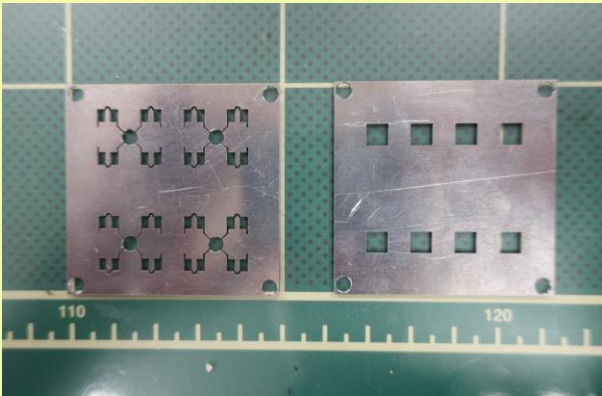


学生実験の安全教育

実習工場試作業務

当プロジェクトでは、工学部実習工場において学内各施設（事務室、センター、研究室等）における研究や実験、またはイベント等に必要装置および部品などの「試作依頼加工」業務を行っています。

また、実験装置の設計や加工に関する技術的な相談、装置や機器の修理などについても常時受け付けていますので、お気軽にご連絡ください。



ワイヤ放電加工機加工例

依頼製作★
蛍光測定装置の試作



出張！
ガラス細工講習会



ガラス細工技術支援

ガラス細工技術をいかして学内の教育・研究活動へのサポートや、地域貢献を目的として様々な活動を行っています。教育・研究支援では各種実験用ガラス器具や真空ラインの作製・修理、学生実験・実習においては酸素バーナーによるガラス細工講習を実施しています。また、工学部オープンラボではガラス細工実演と作品の展示をしています。地域貢献では埼玉県内の高等学校教員および生徒を対象としたガラス細工講習会を開催しており、大学での体験実習の他に出張講習も実施しています。



3D-Design

当プロジェクトでは、3D-CADソフトを用いたモデル設計及び3Dプリンタによる造形サービスを提供しています。依頼者のニーズや予算に合わせた最適な提案やこれまでに培ってきた技術をもとに、3Dに関する技術相談やプレゼンテーション用画像などの提供もお受けしております。また、「さいたま市高度ものづくり人材育成等支援業務」において、埼玉大学で開催している、「3D-CAD&3Dプリンター研修」の講師も務めています。

主な所有設備

- ・FDM方式3Dプリンタ(5台)
- ・3Dスキャナシステム(1式)
- ・半導体レーザー彫刻機



ガス管バルブの補修

お問い合わせ先
総合技術支援センター

まずはお気軽にご相談を！

窓口 9:00～17:00
電話 内線:734201
外線:048 - 858 - 9355
メール office@tsd.saitama-u.ac.jp



夏休み
ものづくり体験教室



ものづくり体験教室の様子

科学分析支援センター支援

科学分析支援センターは、科学教育と研究を支援するため様々なサービスを行っています。

科学分析支援センターの提供するサービス

- ・大型分析機器の維持管理、利用講習、依頼分析測定
- ・液体窒素の供給
- ・動物飼育室、アイソトープ実験施設の維持管理
- ・実験廃液の回収
- ・学内排水の分析、さいたま市への報告
- ・薬品管理システムの技術的サポート

総合技術支援センターでは2つのプロジェクトで科学分析支援センターを支援しています。

科学分析機器管理支援プロジェクト

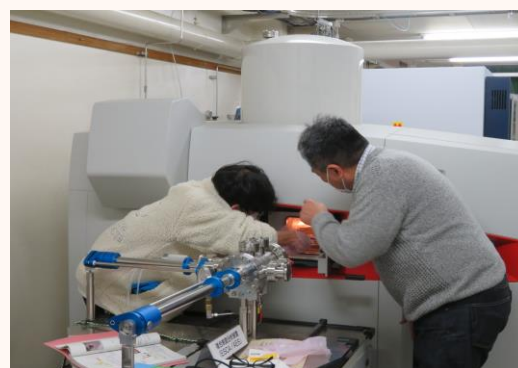
- ・大型分析機器の維持管理支援
- ・大型分析機器の利用講習、トラブルへの対応
- ・大型分析機器による依頼分析測定（学内・学外）

学内排水分析支援プロジェクト

- ・最終放流口の排水分析（毎日）
- ・各建物の排水分析（異常検出時）



分析機器の維持管理



分析機器の利用講習会

情報メディア基盤センター支援

誰もが気軽にネットワーク接続できる今日、安定したネットワーク運用の重要性は増すばかりです。本プロジェクトでは情報メディア基盤センターが管理する各種LANや端末群などの学内情報基盤、さらには情報倫理教育システムなどの運用について、その管理補助・トラブル対応などを通じて学内ネットワークの安定運用をサポートしています。



情報メディア端末室

教育・研究技術支援（理工学研究科）

総合技術支援センターでは、大学院理工学研究科、理学部4学科、工学部5学科において、学部学生の教育プログラムである実験・実習教育支援、および卒業研究、修士、博士学生の研究活動に対して、機械建設系、電気電子情報系、物質・生命科学系の3つの系による技術レベル向上体制の強化を進めながら専門的で高度な技術指導を実施しています。

研究分野では、研究室等からの依頼による研究用試料の作製、分析・測定、実験装置の設計・製作、機器のメンテナンス、研究動向の調査、論文等に利用する図表作成、およびポスター作成等の支援を行っています。また、教員と連携して研究活動を行いながら科学研究費等の外部資金を獲得しています。

